

西宮市男女共同参画に関する市民意識調査

<調査票>

あなたとあなたの家族についてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。(ご自身で思われる性別をお答えください。)
※性別を答えたくない・分からない方などは、選択肢3に○をつけてください。

1. 女性 2. 男性 3. ()

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 16～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上

問3 あなたの職業は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 勤め人(正規) 2. 勤め人(非正規) ※パートタイムなど
3. 自営業主・会社経営 4. 自由業 ※弁護士・文筆業・芸術家など
5. 家族従業者 ※家業手伝い・商工業・農業を含む 6. 家事専業 ※専業主婦・専業主夫など
7. 高校生 8. 専門学校生
9. 大学生 10. 無職
11. その他 ()

問4 あなたは結婚していますか。(あてはまるもの1つに○)

※結婚には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含みます。

1. 結婚している 2. 結婚していない(未婚)
3. 結婚していない(離別・死別)

問5 あなたの同居の家族構成を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身世帯(ひとり暮らし) 2. 夫婦のみ(事実婚・同性婚含む)
3. 親と子(二世帯世帯) 4. 親と子と孫(三世帯世帯)
5. 兄弟・姉妹 6. その他 ()

問6 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(あてはまるもの1つに○)

1. いる 2. いない ⇒ 問7へ

【問6で「1. いる」を選択した方におたずねします】

問6-1 あなたのお子さんの年齢と人数について教えてください。(〔 〕内に人数を記入)

0歳〔 〕人	1歳〔 〕人	2歳〔 〕人	3歳〔 〕人	4歳〔 〕人
5歳〔 〕人	小学生(1～3年生)〔 〕人		小学生(4～6年生)〔 〕人	
中学生〔 〕人		高校生〔 〕人		その他〔 〕人

男女平等観などについてお伺いします。

問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはごどう思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 賛同する
2. どちらかといえば賛同する
3. どちらかといえば賛同しない
4. 賛同しない

問8 例えば「力持ちで男らしい」や「おとなしくて女らしい」、もしくは「男のくせに泣くな」や「女のくせに愛想がない」など、「男は男らしく」「女は女らしく」というような考え方がありますが、あなたはごどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 賛同する
2. どちらかといえば賛同する
3. どちらかといえば賛同しない
4. 賛同しない

問9 あなた自身はごどのようにありたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 「男らしく」または「女らしく」ありたいと思う
2. 性別ではなく個性(自分らしさ)を大切にしたいと思う
3. その他 ()
4. わからない

問10 あなたは、セクシュアルマイノリティ^{*}(性的少数者)に対する偏見がなくなり、生活しやすくするためにはごどうすべきだごと思いますか。(優先的にすべきもの3つまでに○)

1. ありのままの姿、考え方を受け入れる
2. コミュニケーションを図る
3. 市が制度や環境の整備を図る
4. イベントや講座を開催し、理解を深める
5. 啓発パンフレットを配布する
6. その他 ()
7. わからない

^{*}セクシュアルマイノリティ・・・性的指向が異性ではない方や心と体の性別に違和感がある方などのこと。

問11 あなたは、男女共同参画社会^{*}について、子どもたちが何を通して学ぶとよいごと思いますか。(特によいごと思うもの3つまでに○)

1. 学校の授業・学校での生活
2. 新聞やテレビなど情報媒体
3. 講座・セミナー
4. パンフレットやチラシ
5. 家庭生活のなか
6. その他 ()
7. わからない

^{*}男女共同参画社会・・・女性も男性も、性別にかかわらず、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会。

家庭生活や地域活動などについてお伺いします。

問 12 自治会やボランティアなどの地域活動における男女の役割分担について、「あなたの地域の実態」と、それについての「あなたの考え」を教えてください。

12-1. あなたの地域の実態 (あてはまるもの1つに○)

1. 主に女性がリーダーを担い、男性が補助的な役割をしている
2. 主に男性がリーダーを担い、女性が補助的な役割をしている
3. 性別に関係なく、能力に応じて役割分担している
4. 地域活動がない
5. わからない

12-2. あなたの考え (あてはまるもの1つに○)

1. 主に女性がリーダーを担い、男性が補助的な役割をすればよい
2. 主に男性がリーダーを担い、女性が補助的な役割をすればよい
3. 性別に関係なく、能力に応じて役割分担すればよい
4. わからない

問 13 これまで防災分野においては、その活動や対策などが男性主体で行われてきたことが多い傾向にありました。今後、男女それぞれのニーズに配慮した活動や支援などを推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。また、災害時に男女の違いにより困ったことやそれを改善する具体的な案などがあればご記入ください。

13-1. 男女のニーズに配慮した活動や支援の推進のために必要だと思うこと (優先的にすべきもの3つまでに○)

1. 市の防災会議などにおける女性委員の割合を高めること
2. 避難所の運営に男女それぞれの責任者を配置すること
3. 市の防災計画の策定や防災訓練の実施にあたり、男女双方の視点を盛り込むこと
4. 地域の防災を担う女性リーダーなどの人材を育成すること
5. 女性向け防災セミナー・講習会などを実施すること
6. その他 ()
7. わからない
8. 特にない

13-2. 災害時に男女の違いにより困ったことやそれを改善する具体的な案 (自由記入)

※ 働いた経験がない方(高校生・大学生など)は、9 ページの問 23 へお進みください ※
(このアンケートでは、学生のアルバイトは働いた経験に含みません。)

【働いた経験がある方におたずねします】

問 14 日々の暮らしの中で、現在のあなたの時間の使い方について、「希望」と「現実」をお答えください。

14-1. 希 望 (あてはまるもの1つに○)

1. 仕事を優先したい
2. 地域活動(自治会・町内会の活動など)を優先したい
3. 生活(趣味や家庭での時間など)を優先したい
4. 仕事や地域活動、生活にバランスよく時間を使いたい
5. その他 ()
6. わからない

14-2. 現 実 (あてはまるもの1つに○)

1. 仕事を優先している
2. 地域活動(自治会・町内会の活動など)を優先している
3. 生活(趣味や家庭での時間など)を優先している
4. 仕事や地域活動、生活にバランスよく時間を使っている
5. その他 ()
6. わからない
7. 現在、働いていない

仕事についてお伺いします。

【問 15 は、現在、仕事をしていない方（育児や介護、療養などで休業中の方は除く）におたずねします】

※現在、仕事をしている方および育児や介護、療養などで休業中の方は、問 16 へお進みください。

※なお、このアンケートでは、学生のアルバイトは仕事に含みません。

問 15 今後、あなたは、仕事をしたいと思えますか。（あてはまるもの 1 つに○）

1. すぐにでも仕事をしたい

2. いずれは仕事をしたい

3. 仕事をするつもりはない

4. その他（

5. わからない

} 選択肢 3～5 のいずれか
を選択した方は問 16 へ

【問 15 で選択肢 1 または 2 を選択した方におたずねします】

問 15-1 これから仕事をするうえで気がかりなことは何ですか。

（特に気がかりなもの 3 つまでに○）

1. 年齢制限

2. 自分の健康状態や体力

3. 自分の資格や能力が通用するか

4. 自分にあつた仕事がわからない

5. 男女が対等に活躍している職場か

6. 賃金など望む労働条件が得られるか

7. 地域活動や趣味などが続けられるか

8. 家事との両立ができるか

9. 育児との両立ができるか

10. 家族の介護との両立ができるか

11. 家族の理解が得られるか

12. その他（

13. 特にない

【働いた経験がある方におたずねします】

問 16 あなたは、あなたやあなたの周囲（同僚など）が、性別に関係なく、仕事と生活のバランスを保ちながら、いきいきと仕事を続けるために企業が取り組むべきことは何であると考えますか。
(優先的に取り組むべきもの3つまでに○)

1. 経営者や管理職の意識改革
2. 女性社員の意識改革
3. 男性社員の意識改革
4. 業務分担の見直しや残業の削減
5. 時間的余裕の創出（フレックスタイムなど柔軟な勤務形態や有給休暇の促進など）
6. 育児休業や介護休業制度を取得しやすい環境の整備
7. 子育てや介護などの長期休業中や終えた後の復職支援（情報提供、学習支援など）
8. 人材育成（ハラスメント防止研修など）
9. 男女差のない公正な処遇と人事評価
10. 相談窓口の整備（雇用条件や心身の健康など）
11. その他（)
12. わからない

問 17 男性の働き方の意識（長時間労働の削減など）が変わると、家事・育児などへの参画が進み、女性の働き方が変わる可能性があるという考え方がありますが、あなたはどう考えますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 男性の意識を変える必要がある
2. 男性の意識を変える必要はない
3. その他（)
4. わからない

問 18 あなたは、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどのように考えますか。
※ここでの「育児休業」には、出産の立ちあいなどの短期の有給休暇は含みません。

18-1. 育児休業 (あてはまるもの1つに○)

1. 取得しない方がよい
2. 会社に迷惑をかけないように取得するべきである
3. 積極的に取得するべきである
4. その他（)
5. わからない

18-2. 介護休業 (あてはまるもの1つに○)

1. 取得しない方がよい
2. 会社に迷惑をかけないように取得するべきである
3. 積極的に取得するべきである
4. その他（)
5. わからない

問 19 あなたは、過去も含めて育児休業を取得したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. <u>取得したことがある、または取得中・取得予定である</u> | } 選択肢3または4を
選択した方は問 20 へ |
| 2. <u>取得したことがない</u> | |
| 3. 育児休業の対象となることがない(子どもがいないなど) | |
| 4. 制度がない(なかった) | |

【問 19 で選択肢 1 または 2 を選択した方におたずねします】

問 19-1 あなたは、育児休業を希望していたが、取得できなかったことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1. <u>ある</u> | } 選択肢2または3を
選択した方は問 20 へ |
| 2. ない | |
| 3. 希望したことがない | |

【問 19-1 で「1. ある」を選択した方におたずねします】

問 19-2 育児休業を取得できなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 取得しづらい雰囲気だったから |
| 2. 残業の多い職場だったから |
| 3. 職場の理解がなかったから |
| 4. 職場から、取得すると人事評価が不利になるなど言われたから |
| 5. 休業取得による、収入減などの心配があったから |
| 6. 後のキャリア形成に影響しそうだったから |
| 7. 同じ仕事や職場に復職できるめどが立たなかったから |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |

問 20 あなたは、育児休業を取得するとしたら、どのように取得するのがよいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 夫が取得するほうがよい |
| 2. 妻が取得するほうがよい |
| 3. 夫も妻も同じように取得するほうがよい |
| 4. その他 () |
| 5. わからない |

問 21 あなたは、過去も含めて介護休業を取得したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 取得したことがある、または取得中・取得予定である
 - 2. 取得したことがない
 - 3. 介護休業の対象となっていない
 - 4. 制度がない(なかった)
- } 選択肢3または4を
} 選択した方は問 22 へ

【問 21 で選択肢1または2を選択した方におたずねします】

問 21-1 あなたは、介護休業を希望していたが、取得できなかったことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. ある
 - 2. ない
 - 3. 希望したことがない
- } 選択肢2または3を
} 選択した方は問 22 へ

【問 21-1 で「1. ある」を選択した方におたずねします】

問 21-2 介護休業を取得できなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 取得しづらい雰囲気だったから
- 2. 残業の多い職場だったから
- 3. 職場の理解がなかったから
- 4. 職場から、取得すると人事評価が不利になるなど言われたから
- 5. 休業取得による、収入減などの心配があったから
- 6. 後のキャリア形成に影響しそうだったから
- 7. 同じ仕事や職場に復職できるめどが立たなかったから
- 8. その他 ()
- 9. 特にない

問 22 あなたは、介護休業を取得するとしたら、どのように取得するのがよいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 夫が取得するほうがよい
- 2. 妻が取得するほうがよい
- 3. 夫も妻も同じように取得するほうがよい
- 4. 夫の親族は夫が、妻の親族は妻が取得するほうがよい
- 5. その他 ()
- 6. わからない

【全員におたずねします】

DV※などの暴力についてお伺いします。

※DV・・・ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者（事実婚、元配偶者を含む）や恋人など親密な関係にある（または親密な関係にあった）人からふるわれる暴力。

問 23 あなたは、次のようなことが配偶者や交際相手から行われた場合、それを「暴力」だと思いますか。（A～Jの項目ごとにあてはまるものを1つずつ○）

※ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の相手も含まれます。

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
A. 平手で打つ・足で蹴る	1	2	3
B. なぐるふりをして、おどす	1	2	3
C. 大声でどなったり、人前でバカにしたりする	1	2	3
D. 他の異性との会話やメールを許さない	1	2	3
E. 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
F. 家族・交友関係や行き先、電話・メール・SNSなどを細かく監視したり制限したりする	1	2	3
G. 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
H. デート代などのお金を無理やり出させる	1	2	3
I. 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
J. 避妊に協力しない	1	2	3

問 24 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない ⇒問 25 へ

【問 24 で「1. 知っている」を選択した方におたずねします】

問 24-1 次のうち、どの相談窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 配偶者暴力相談支援センター（西宮市DV相談室）
- 2. 西宮市男女共同参画ウェブサイト 女性のための相談室
- 3. 上記の選択肢1、2以外の市役所の相談窓口
- 4. 警察が開設するDV相談窓口
- 5. 弁護士やNPO法人などが開設する相談窓口
- 6. その他（)

問 25 あなたは、配偶者もしくは交際相手から問 23 の A～J のような行為を受けた経験がありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の相手も含まれます。

- 1. 経験あり
- 2. 経験なし ⇒問 26 へ

【問 25 で「1. 経験あり」を選択した方におたずねします】

問 25-1 あなたは、そのような行為を受けた際、どこ（誰）に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 家族・親せき
 - 2. 友人・知人
 - 3. 配偶者暴力相談支援センター（西宮市DV相談室）
 - 4. 西宮市男女共同参画ウェブサイト 女性のための相談室
 - 5. 上記の選択肢3、4以外の市役所の相談窓口
 - 6. 警察が開設するDV相談窓口
 - 7. 弁護士やNPO法人などが開設する相談窓口
 - 8. 医療関係者（医師、看護師など）
 - 9. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）
 - 10. その他（)
 - 11. どこ（誰）にも相談しなかった ⇒問 25-2 へ
- 選択肢1～10
を選択した方は
問 26 へ

【問 25-1 で「11. どこ（誰）にも相談しなかった」を選択した方におたずねします】

問 25-2 どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

1. どこ（誰）に相談してよいのかわからなかった
2. 自分がDV被害者だと思っていなかった
3. 相手の仕返しが怖かった
4. 自分が我慢すれば何とかなると思った
5. 他人に相談することが不安だった
6. 自分にも悪いところがあると思った
7. 相手の行為は愛情表現だと思った
8. その他（)

【全員におたずねします】

問 26 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力防止に必要なことは、何だと思われませんか。
（優先的にすべきもの3つまでに○）

※ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の相手も含まれます。

1. 身近な相談窓口を増やす
2. 市役所や病院、警察などの職員研修・連携を強化する
3. 市がイベントや研修などの啓発に取り組む
4. 被害者の一時保護や安全確保の体制を積極的に広報する
5. 家庭で教育を行う
6. 学校で生徒・学生に教育を行う
7. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、ゲームソフトなど）を取り締まる
8. 加害者の罰則の強化
9. 加害者の更生教育を行う
10. その他（)

問 27 あなたは、近年、特に問題となっている性暴力に関する次の言葉をどの程度知っていますか。
（A～Eの項目ごとにあてはまるものを1つずつ○）

	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	言葉も内容も知らない
A. JKビジネス※1	1	2	3
B. AV（アダルトビデオ）出演強要※2	1	2	3
C. 児童ポルノ※3	1	2	3
D. 児童買春※4	1	2	3
E. リベンジポルノ※5	1	2	3

※1 JKビジネス・・・女子高校生などをつかって、異性の客と会話やゲームなどをする、散歩をする、個室でマッサージや添い寝をするなど性的な行為を強要する問題。

※2 AV出演強要・・・モデルやアイドルの勧誘をきっかけに、AV（アダルトビデオ）への出演を強要される問題。

※3 児童ポルノ・・・18歳に満たない児童の性的な部位の露出や性的な行為を撮影した写真や動画。

※4 児童買春・・・18歳に満たない児童に対して、対償を与え、性交などをする行為。

※5 リベンジポルノ・・・元交際相手が、相手から拒否されたことの仕返しに、相手の裸の写真や動画など、相手が公開するつもりのない私的な性的画像を無断でインターネットの掲示板などに公開する行為。

問 28 あなたは、性暴力被害について相談できる窓口があることを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 知っている
2. 知らない ⇒問 29 へ

【問 28 で「1. 知っている」を選択した方におたずねします】

問 28-1 次のうち、どの相談窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 性暴力被害者支援センター・ひょうごなどの NPO 法人が開設する相談窓口
2. 医療関係者 (医師、看護師など)
3. 警察が開設する相談窓口
4. 弁護士などが開設する相談窓口
5. その他 ()

西宮市の施策などについてお伺いします。

問 29 男女がともに活躍できる職場づくりや、男女共同参画全般について、本市に対する意見・要望などがあれば何でもお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて、
平成 29 (2017) 年 12 月 4 日 (月) までに郵便ポストにご投函 (切手不要) ください。